

2024 年 6 月 26 日

株主の皆さまへ

京都市南区吉祥院中島町 29 番地
株式会社ワコールホールディングス

第 76 期 定時株主総会 事前質問へのご回答

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社第 76 期定時株主総会の開催にあたり、当社ウェブサイト上にて事前質問の受け付けを行いました。株主の皆さまからご質問いただきました事項につきまして、以下のとおり、ご回答申し上げます。

Q1	配当金（剰余金）の決定を、取締役会から株主総会に移さないのはなぜか。 ・年 2 回の配当を実施しているが、中間配当は取締役会、期末配当は株主総会で決定するように変えることが出来ないのはなぜか。 ・剰余金の配当に関する方針として、累進配当を採用しないのはなぜか。 ・他社の株主総会では、配当内容などを株主総会で決められるよう定款を変える株主提案が否決されたものの、賛成率が 42.9%に達したことについてどう思うか。
A1	<u>（剰余金の配当等の決定機関について）</u> 当社剰余金の配当等に関しましては、持続的な成長、中長期的な企業価値及び株主共同の利益の向上の観点から、創出したキャッシュは、「新規・既存事業への投資」、「配当還元」、「自己株式の取得」などのキャッシュアロケーションを考慮した上で配当額を機動的に決定できるようにするため、取締役の任期を 1 年とした上で、株主総会ではなく取締役会の決議により行えるようにしております。 各事業年度にかかる具体的な配当額等も含めた株主還元に関する方針について、当社を取り巻く経営環境や事業特性等を踏まえて当社の中長期的な経営方針に基づき、当社取締役会において決定することが合理的であると考えております。 したがいまして、これらの事項は経営判断事項として、株主総会ではなく取締役会において機動的かつ柔軟に判断することが、当社の中長期的な企業価値の向上にとって必要であり、株主の皆さまの利益に資するものと考えております。 <u>（累進配当について）</u> 円安の長期化による商品原価の上昇、物流費・人件費等のコスト上昇等厳しさを増す事業環境に対応するため、中長期的な視点で財務体質の強化を図りつつ、更なる成長に向けた人的資本投資を含めた成長基盤投資を行い、収益性を高めることが重要となります。

	当社といたしましては、株主の皆さまに安定的かつ継続的な配当、経営基盤強化のための成長基盤投資とのバランスをとりながら中長期的に当社の企業価値を向上させることが株主利益の増大に資するものであると考えていることから、累進配当は取っておりません。 今後も、株主還元の水準や方法に関しては、当社の中長期的な成長戦略、財務状況、資本収益性などを考慮したうえで、株主の皆さまの様々な意見に耳を傾けながら適切に検討してまいります。 <u>(他社様の株主総会の内容について)</u> 他社様の株主総会の内容に関しましては、回答を差し控えさせていただきます。
--	--

以上